

令和3年度学校自己評価システムシート (県立上尾橋高等学校)

目指す学校像	地域に根ざし、生徒一人ひとりを伸ばし、自立(律)して社会を支えられる人間を育てる。
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会に通用する言葉遣い、身だしなみ、マナーを身に付けさせる効果的な生徒指導を推進する。 2 基礎学力向上のための指導技術研究と新しい学習指導要領の「深い学び」への対応を進める。 3 就職内定率を維持しながら、進学希望への対応も一層充実させる。 4 地域に根ざし、信頼される開かれた学校づくりを進める。 5 「高等学校における通級指導」において、社会に必要な力を育成する。
------	---

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	4名
	生徒	4名
	事務局(教職員)	12名

学校自己評価							学校関係者評価	
年度目標				年度評価(2月1日現在)			実施日 令和4年2月8日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	<p>[現状] 生徒の遅刻や欠席は減少傾向にあるが、未だに規範意識がなく、問題行動を起こす生徒が若干いる。また、人間関係や学習、進路等に不安を抱え、悩んでいる生徒が多く見られる。公共のマナーを学ぶ必要がある。</p> <p>[課題] 家庭との連携を図り、協調性や人間性を高め、学習や学校行事、部活動に積極的に取り組む生徒を育てることが必要である。また、様々な生徒が相談しやすい教育相談体制を構築させる必要がある。日常生活の中でゴミの分別を含め校内の環境を整備することで生徒の規律意識を高めていく。</p>	<p>○基本的生活習慣の確立を図り、規範意識を育てる。</p> <p>○学校行事や部活動を充実させ、生徒の自立(律)意識の向上を図る。</p>	<p>①学校のルールを確認し、毅然とした指導、受容的な指導を進め、特別生徒指導を減らす。</p> <p>②遅刻指導に教職員全体で取り組み、学年で皆勤や精勤を奨励する取り組みを継続する。</p> <p>③学校と家庭・関係機関と情報共有・連携し、生徒の生活改善に取り組み、欠席・早退を減らす。</p> <p>④担任による健康観察、保健室と担任の情報交換を実施し、校内の消毒用のアルコールや洗剤、手袋などを整備し、校内の安全、消毒活動が行えるように準備する。</p> <p>①生徒会本部を中心に、学校行事や部活動、専門委員会等への参加意欲を高め、生徒が主体的に活動する場を設け、取り組む活動を進める。その中で公共のマナーの指導を行う。</p> <p>②教育相談委員会を中心に担任と養護教諭の連絡を密にし、SCの活用や外部機関との連携を強め、教育相談体制を充実させる。</p>	<p>①②③④学校自己評価アンケートで「信頼される学校である」の割合が90%以上か。</p> <p>②③遅刻・欠席・早退件数がそれぞれ5%以下か。</p> <p>②③皆勤者率が20%以上か。</p> <p>①②③④学校自己評価アンケート結果で「基本的生活習慣に関する内容」の達成度が80%以上か。</p> <p>④校内においてガイドラインに基づいた感染予防対策を適切に行えたか。</p> <p>①②学校自己評価アンケートで「学校行事や部活動等に関する内容」の満足度が80%以上か。</p> <p>①部活動の加入率40%、継続率は80%以上を達成できたか。</p> <p>②アンケートの結果から「教育相談体制に対して」の満足度が80%以上か。</p>	<p>校内の取り組みにより、生徒の意識・保護者からの信頼ともに高い水準を保つことができた。感染予防対策は適切に行うことができた。</p> <p>①②③④整容指導や遅刻指導、交通安全指導で保護者から90%以上の評価を得られた。</p> <p>②③遅刻は4.6%、欠席は6.6%、早退は1.0%、皆勤者は75名で20.1%(12月31日現在)であった。</p> <p>①②③④約90%の生徒が欠席・遅刻をしないうように努めている。「交通ルールを守る」とした生徒が98%と昨年度より6%上がった。</p> <p>④校内の体調不良者についての対応、校内の体温測定設備、食堂の座席の制限、黙食指導の徹底など、感染予防対策を適切に行った。</p> <p>①②学校自己評価アンケートで「学校行事や部活動等に関する内容」の満足度が80%以上か。</p> <p>①部活動の加入率40%、継続率は80%以上を達成できたか。</p> <p>②アンケートの結果から「教育相談体制に対して」の満足度が80%以上か。</p>	<p>A</p>	<p>・今年度はネット上などの情報により生徒の問題行動を把握するケースが多く見られた。学校以外で基本的生活習慣の確立を図る為には、保護者と学校との連携をさらに深める必要がある。</p> <p>・規範意識が希薄な生徒がいる。教科指導や特別活動を通じて引き続き指導を行う。遅刻者には積極的に声掛けを行い、家庭とも連絡を取りながら遅刻をなくしていきたい。</p> <p>・コロナ前と行動制限中の学校行事を考え、行事を見直し生徒会役員を中心に生徒がより主体的な活動ができるようにする。</p> <p>・部活動の活動が低調である。今後、活動率や継続率を高め、学校の活性化を念頭にいたったPR活動や予算の充実、ホームページの掲載を検討する必要がある。</p> <p>・体調不良の訴えをきっかけに保健室で悩み事を訴える生徒が多い。体調不良者は自宅療養が原則の新型コロナウイルス対応と相談活動の両立が課題となっている。</p>	<p>・正しい日本語を残す教育は絶対必要なので、卒業までに社会人として適切な言葉遣いは身につけてほしい。</p> <p>・基本的生活習慣の指導はしっかりやっていると感じている。引き続き指導をお願いしたい。</p> <p>・部活動も制約があろうが、生徒全員が何らかの部活動に参加するよう努力してもらいたい。</p> <p>・基本的生活習慣を確立すれば、学力の向上はもちろん、部活動や学校行事も活性化するとと思う。</p>
2	<p>[現状] 授業に熱心に取り組む生徒が多いが、意欲が見られない生徒もいる。また生徒の学力の幅が大きい。生徒の本離れを防ぎ、図書館の一層の利用を促すための工夫を図る必要がある。授業等でのICT機器の活用を促進する必要がある。</p> <p>[課題] 学習習慣や基礎学力を身につけさせるとともに、学習に対して自信を持たせる。多様な生徒に対応し、新学習指導要領・通級を踏まえたカリキュラムマネジメント、学習指導技術の向上を図る。生徒間の情報格差をなくし、均一した情報通信環境を整えるとともに、デバイスのない生徒への機器の支援が必要である。</p>	<p>○基礎基本の学力の定着・資格取得させる。</p> <p>○学習指導の改善を図る。</p> <p>○生徒の図書館利用を増やす。</p> <p>○機材や安定した通信環境、デバイスがない生徒への支援に対応する。</p>	<p>①チャイム着席、授業規律を生徒指導部と学年が連携して行い、身につけさせる。</p> <p>②学び直しによる基礎基本の学力の向上を図り、学びに対する自信を取り戻させる。学ぶ意欲を向上させ、授業に積極的に取り組ませる。</p> <p>③主体的・対話的で深い学びを実践するため指導技術の向上を図る。</p> <p>④定期査前補講(放課後寺子屋)、資格取得補講を実施する。</p> <p>⑤授業での調べ学習で図書館を利用する機会を増やす。</p> <p>⑥校内Wi-Fi環境のトラブル等への対応を迅速に行う。デバイスの有無の調査を実施し、生徒の現状の確認を行う。</p>	<p>①②③④学校自己評価アンケートで、学習指導に関する内容の満足度(肯定的回答)が80%以上か。</p> <p>①チャイム着席・始業は習慣化しているか。</p> <p>②③各教科で新学習指導要領や通級を踏まえたカリキュラムマネジメント、深い学びを実践するための指導技術改善について検討したか。</p> <p>③④成績優良者数は10%以上か。</p> <p>④放課後寺子屋の参加者が増えたか。</p> <p>④資格取得者数が300名以上か。</p> <p>⑤図書館の1人当たりの年間生徒貸出数が3.5冊を上回ったか。</p> <p>⑥継続した通信環境を整備できたか。</p> <p>⑥トラブル発生時の初期対応、デバイス機器の貸し出し及び、故障への対応を迅速に行えたか。</p>	<p>分散登校や学校に来たくても来られない生徒に向けたオンライン授業に対応することができた。</p> <p>①②③④学習指導に関する内容の満足度において肯定的な回答は、生徒、保護者ともにほぼ全てで80%を上回っている。</p> <p>①教員の努力により、生徒にはチャイムタッチチャイムが習慣化している。</p> <p>②③各教科で生徒の目標に立った試みが行われた。成績優秀者(2学期)は全学年合計で38人で10.1%であった。</p> <p>④放課後寺子屋に1回でも参加した生徒は、全校の約60%である。資格取得者総数は約63名である(12月31日現在)。</p> <p>⑤新着図書情報を発行し、図書情報の周知に努めた(年度末3.5冊/人達成見込み)。</p> <p>⑥視聴覚、ICT機器の貸し出しの手続きをマニュアル化した。また、研修会や情報提供、行事ごとに機器利用についてレクチャーを行い、使用できる人を増やした。</p> <p>⑥事前にデバイスや通信環境について調査を実施していたため、分散登校中の機器がない生徒にも不利益がないように対応できた。トラブルにも速やかに対応し、教育活動に対する影響を最小限に抑えた。</p>	<p>A</p>	<p>・積極的に学習に取り組む生徒もいる中、平日の家庭学習時間が全くない生徒が多い。引き続き、生徒の学習への意識を上げさせるための方策を考えていきたい。また、来年度からの新学習指導要領や観点別評価に円滑に対応できるように、校内の骨組みを作りたい。</p> <p>・年度が替わるタイミングでのトラブルが多いため、学校全体で引継ぎができるように環境を整備する。</p> <p>・次年度以降も学校の通信環境は大きく変わることが予想される。各種研修への参加、情報共有を行い、対応していく。</p> <p>・チャイム着席は習慣になってきているが、一部授業態度に問題のある生徒もいる。来年度も各学年で休み時間の巡回指導・着席指導を行い、授業への参加意識をしっかりと持たせていく。</p>	<p>・少子化による高校の存続が心配される昨年、廃校問題も起きている。魅力ある授業を行い、入学希望者を増加させなければならない。</p> <p>・学習意欲に欠ける生徒が多い現状にあって、どのようにして基礎学力の向上を図るのかは半永久的な課題と考える。</p>
3	<p>[現状] 就職では、学校紹介による就職希望者の内定率100%を維持している。これを継続し、生徒の多様な進路希望を実現させるために、進路指導部と学年がさらに連携して指導にあたる。</p> <p>[課題] 生徒の進路意識の高揚と自己理解の深化を一層図るとともに、進路実現のために必要となる力を身に付けさせる必要がある。</p>	<p>○生徒一人ひとりの希望を叶える進路指導の展開を行う。</p>	<p>①進路ガイダンス、進路講演会、進路別見学会等の進路行事や進路適性検査などを通じて、生徒の進路意識の高揚と自己理解の深化を図る。</p> <p>②進路指導部、学年団、JST及び外部講師が協力して面接指導にあたる。また、合同企業説明会・面接会への参加を通して、面接試験に向けての実践力を養うと共に、進路実現に向けての意識を明確にさせる。</p> <p>③一般常識の力を養うための時間を確保する。</p> <p>④進路情報・生徒情報を進路指導部と学年団で共有し指導にあたる。『進路通信』や進路講演会を通じて、保護者へ進路情報を発信する。</p> <p>⑤進路に関する蔵書を増やす。</p>	<p>①②③④学校自己評価アンケートで「各種の進路行事や学習」に対する満足度が80%以上か。</p> <p>②面接指導の生徒1人あたりの延べ回数5回以上か。</p> <p>③一般常識の力を養うための時間数を確保できたか。</p> <p>④進路決定者数、及び保護者への進路情報発信数を確保できたか。</p> <p>⑤進路別の蔵書を増やすことができたか。</p>	<p>生徒それぞれに合わせた進路決定をサポートすることができた。引き続き低学年から意識喚起を続けていく。</p> <p>①「本校の進路活動は生徒の進路意識を高めている」との回答が、生徒が91%、保護者が80%だった。</p> <p>②JSTや外部講師を活用した面接指導が延べ441回。生徒一人あたりに換算すると4.0回。その他の個別面接指導も多く行ったので、一人あたり5回程度は行った。</p> <p>③HRの時間を利用して継続的に一般常識問題に取り組ませた。</p> <p>④学校紹介就職内定者は24名で、就職内定率92.3%である。進学希望の合格者は53名。就職・進学合わせた進路決定者数の割合は85.6%である(12月17日現在)。『進路通信』を2学期までに3号発行した。</p> <p>⑤生徒の進路活動のニーズに合った蔵書を46冊購入した。</p>	<p>A</p>	<p>・進路決定に対する意識が希薄で、自ら進路活動に取り組めない生徒が多く見受けられた。新型コロナウイルスの影響で進路行事が中止になったことや、夏季休業中の感染拡大でオープンキャンパス・学校説明会に参加出来なかったことなどが関係していると考えられる。しかし、早くから明確な目標を持って進路活動に臨んだ生徒はしっかりと進路を決めている。来年度もコロナの影響は続くことが予想されるので、現2年生には早めに進路決定への意識を高めさせるよう指導をしていきたい。</p>	<p>・コロナ禍の状況はまだしばらく続くと思われるので、より一層の進路指導・キャリア教育の充実を図るよう取り組まれることを期待する。</p> <p>・就職内定率が例年100%であるのは素晴らしいと思う。進学実績を向上させるために、やはり基礎学力を向上させてもらいたい。</p> <p>・進学希望が増えるのも良いし、就職内定率の維持も大切なので、これからも続けていただきたい。</p>
4	<p>[現状] 地域との交流、地域への情報発信は行っており、地域と連携した開かれた学校づくりを推進している。</p> <p>[課題] 様々な機会・メディアを通じて、中学生とその保護者向けに、本校の特色・強みを発信し、多くの中学生に本校を知ってもらう必要がある。保護者と連携して学校行事の充実を図り、開かれた学校づくりを推進する。</p>	<p>○生徒・PTA活動の様子など本校の良さを保護者、地域、中学生に発信する。</p>	<p>①各分掌、生徒募集委員会の連携により、HP更新頻度を高めるなど積極的な情報発信を図る。</p> <p>②体験入学、学校説明会、文化祭での個別相談会の実施など、生徒募集活動内容の改善を図る。</p> <p>③保護者や地域と連携した活動を推進する。</p> <p>④防災マニュアルの見直し、研修会を実施する。</p> <p>⑤防災関係情報、新型コロナウイルスに関する予防情報を生徒や保護者に広く提供する。</p>	<p>①学校説明会の参加者数が500人以上か。</p> <p>①②HPの更新回数が100回以上か。</p> <p>②体験入学、学校説明会、文化祭での個別相談会の実施など、生徒募集活動内容の改善を図る。</p> <p>③生徒主体の地域連携活動ができたか。</p> <p>④本校の現状に則した内容で改定できたか。</p> <p>⑤ほけんだよりやホームページを通じて保健環境情報を発信できたか。</p>	<p>中学生や外部の方々に向けた発信を継続することができた。引き続き本校志望者の増加に繋げていきたい。</p> <p>①第1回、第2回の学校説明会の参加者は、合計261名だった。コロナ禍で人数制限をしなければならぬ状況だったが、いづれの回も制限を上回る希望があった。</p> <p>②②学校全体で合計100回以上(昨年度の2倍以上)の更新を行うことができた。キャッチアップタイムの取組を毎回更新した。</p> <p>③各学年で地域清掃を行った。昨年度同様PTA総会は書面によるものとなり、審議内容や結果は、保護者宛ての通知やホームページを活用して伝えた。広報紙『橋』を通じて、理事会、交通安全指導などの活動報告をした。</p> <p>④防災マニュアルについては改訂を行い、職員に提示した。</p> <p>⑤新型コロナウイルスに関する情報を、ほけんだよりや学校ホームページのトップページを利用して提供できた。</p>	<p>B</p>	<p>・学校説明会の工夫やホームページの更新を引き続き行って、それが倍率に現れるようにしていきたい。新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、地域連携活動は増やせるようにしたい。</p> <p>・新型コロナウイルスの影響で、多くの行事ができなかった。そのため、文化祭や体育祭などの行事の参加の際の情報をいかに伝えていくか、昨年度に引き続き、課題である。</p> <p>・オンラインによる情報提供の重要性を再確認したので、来年度も生徒向け・保護者向け・学校生活向けのほけんだよりの発行と、ホームページとの連携により、情報発信を続けたい。</p>	<p>・残念ながらコロナ禍で、地域も活動が中止ばかりだったが、来年度は可能なら協力して、地域活性化を図りたい。</p> <p>・今後も何らかの方法で地域との連携を進めてもらいたい。</p> <p>・ホームページの更新・充実等の情報発信は積極的に行っていると思うが、なかなか生徒募集につながらないところが厳しいと感じる。</p>
5	<p>[現状] ソーシャルスキルが乏しい生徒がいる。また、キャッチアップタイム(通級指導)初年度であるので先行きが見通しにくい。</p> <p>[課題] 初年度のため、授業内の取組体制を確立させ、今年度の反省を次年度に活かせるようにする。</p>	<p>○生徒のソーシャルスキルを改善する。</p>	<p>①キャッチアップタイムだけではなく毎月のソーシャルスキルトレーニング目標の設定や学年集会などの機会を使うことで、学年全体のソーシャルスキルの意識を高める。</p> <p>②キャッチアップタイムを学年団だけではなく、養護教諭や教育相談特別支援教育委員会、外部講師などと連携して組織的に取り組む。</p>	<p>①学校自己評価アンケートで、ソーシャルスキル向上に対し、生徒が肯定的な回答をしたか。</p> <p>②組織的にキャッチアップタイムに取り組めたか。</p> <p>③ソーシャルスキルトレーニングに関する外部からの研修を行ったか。</p>	<p>1年間無事に授業を行うことができた。授業の内容や教員の負担を考慮しつつ、来年度に生かしたい。</p> <p>①「キャッチアップで学んだことは自分にとって役立つ」とに対して肯定的な回答をした生徒が76%だった。</p> <p>②7月26日に外部講師による研修会を行った。質疑応答も活発であった。</p>	<p>B</p>	<p>・他のアンケートと比較するとやや肯定的な回答が少ない。今年度中に体験授業、希望の取り方、担当教員のローテーションなどの振り返りを行い、来年度に向けて改善を行う。</p>	<p>・今まさに必要とされている取組だと思う。継続的な実施を期待する。</p> <p>・友達や家族、先生とのコミュニケーションは避けては通れない。進路がどうであれ、コミュニケーションを学ぶのはとてもよい試みだと感じた。</p>

学校関係者評価

実施日 令和4年2月8日

学校関係者からの意見・要望・評価等

・正しい日本語を残す教育は絶対必要なので、卒業までに社会人として適切な言葉遣いは身につけてほしい。

・基本的生活習慣の指導はしっかりやっていると感じている。引き続き指導をお願いしたい。

・部活動も制約があろうが、生徒全員が何らかの部活動に参加するよう努力してもらいたい。

・基本的生活習慣を確立すれば、学力の向上はもちろん、部活動や学校行事も活性化するとと思う。

・少子化による高校の存続が心配される昨年、廃校問題も起きている。魅力ある授業を行い、入学希望者を増加させなければならない。

・学習意欲に欠ける生徒が多い現状にあって、どのようにして基礎学力の向上を図るのかは半永久的な課題と考える。

・積極的に学習に取り組む生徒もいる中、平日の家庭学習時間が全くない生徒が多い。引き続き、生徒の学習への意識を上げさせるための方策を考えていきたい。また、来年度からの新学習指導要領や観点別評価に円滑に対応できるように、校内の骨組みを作りたい。

・年度が替わるタイミングでのトラブルが多いため、学校全体で引継ぎができるように環境を整備する。

・次年度以降も学校の通信環境は大きく変わることが予想される。各種研修への参加、情報共有を行い、対応していく。

・チャイム着席は習慣になってきているが、一部授業態度に問題のある生徒もいる。来年度も各学年で休み時間の巡回指導・着席指導を行い、授業への参加意識をしっかりと持たせていく。

・進路決定に対する意識が希薄で、自ら進路活動に取り組めない生徒が多く見受けられた。新型コロナウイルスの影響で進路行事が中止になったことや、夏季休業中の感染拡大でオープンキャンパス・学校説明会に参加出来なかったことなどが関係していると考えられる。しかし、早くから明確な目標を持って進路活動に臨んだ生徒はしっかりと進路を決めている。来年度もコロナの影響は続くことが予想されるので、現2年生には早めに進路決定への意識を高めさせるよう指導をしていきたい。

・残念ながらコロナ禍で、地域も活動が中止ばかりだったが、来年度は可能なら協力して、地域活性化を図りたい。

・今後も何らかの方法で地域との連携を進めてもらいたい。

・ホームページの更新・充実等の情報発信は積極的に行っていると思うが、なかなか生徒募集につながらないところが厳しいと感じる。

・今まさに必要とされている取組だと思う。継続的な実施を期待する。

・友達や家族、先生とのコミュニケーションは避けては通れない。進路がどうであれ、コミュニケーションを学ぶのはとてもよい試みだと感じた。